

令和 7 年度

スタートアップ関連予算の概要

令和 7 年 3 月

産業部スタートアップ推進課

浜松市スタートアップ支援施策と予算状況

(単位:千円)

内容		R5当初	R5補正 (R5→R6繰越)	R6当初 (下段:繰越含む)	R7当初
育成・成長	○ファンドサポート事業 ・認定VC・金融機関に協調した交付金交付 (上限金額) 一般枠:4千万円 デッド枠:4千万円 シード枠:1千万円	290,297	—	284,903	236,320
	○スタートアップ成長支援事業 ・総合相談窓口の開設 ・起業前後のスタートアップ向け育成プログラムの実施	43,453	—	43,000	44,724
	○次世代スタートアップ育成事業 ・アントレプレナーシップ醸成コミュニティの運営 ・次世代人材育成プログラムの実施	22,059	—	30,643	30,457
地域連携	○浜松地域スタートアップ連携促進事業 ・地域企業等とスタートアップのマッチングプラットフォームを構築、連携プロジェクトに対し補助金交付	—	—	—	55,701
エコシステム構築	○スタートアップ・エコシステムグローバル化推進事業 ・central主催グローバルイベント「Tech GALA」の開催	—	—	—	20,000
誘致	○舞阪サテライトオフィス運営事業 ・舞阪サテライトオフィスの管理・運営 (市外スタートアップは月額利用料減免 1/2)	5,055	—	4,823	4,904
	○天竜トライアルオフィス運営事業 ・天竜トライアルオフィスの管理・運営	8,135	—	8,135	6,562
首都圏	○首都圏ビジネス情報センター事業 ・首都圏のスタートアップに対し本市施策を周知、本市に呼び込むための活動を実施	13,668	—	10,966	12,539
関連事業	○インドスタートアップ関連事業 ・本市産業との親和性のあるインドスタートアップを本市へ招聘し交流イベントや産業視察を実施する。	—	—	—	21,367
その他	・浜松市スタートアップ地域メンター事業 ・エコシステムクラブ運営事業 ・浜松市スタートアップ支援アドバイザー事業 他	115,815	22,000	51,912 (73,912)	26,459
計		498,482	22,000	434,382 (456,382)	459,033

目次

I. スタートアップの育成・成長支援	
○ファンドサポート事業	…p4
○スタートアップ成長支援事業	…p4
○次世代スタートアップ育成事業	…p5
II. スタートアップの地域連携促進	
○浜松地域スタートアップ連携促進事業	…p6
III. 浜松地域のスタートアップエコシステム構築	
○スタートアップ・エコシステムグローバル化推進事業	…p7
IV. スタートアップの誘致	
○舞阪サテライトオフィス運営事業	…p8
○天竜トライアルオフィス運営事業	…p8
V. 首都圏スタートアップへの情報発信	
○首都圏ビジネス情報センター事業	…p9
VI. インドスタートアップとの交流	
○インドスタートアップ関連事業	…p10

※事業内容は変更となる場合があります。

令和7年度スタートアップ関連予算の各事業概要

I. スタートアップの育成・成長支援

311,501 千円(△47,045 千円)

○ファンドサポート事業

236,320 千円(△48,583 千円)

浜松市が認定する VC・金融機関の出資等に協調して市内に主たる事業所を持つスタートアップに対し、交付金の交付や、アドバイザーによるサポート等の成長支援を行うことで、資金調達環境の活性化を通じたスタートアップの成長を図る。

★交付金メニュー★

シード・R&D 枠(上限 1,000 万): 起業 5 年以内 + 認定 VC の投資(or 投資意向)

一般枠(上限 4,000 万) : 認定 VC の投資(or 投資意向)

デット枠(上限 4,000 万) : 認定 VC の投資経験 + 認定金融機関の融資(or 融資意向)



○スタートアップ成長支援事業

44,724 千円(+1,724 千円)

市内スタートアップ等に対し、事業成長のステージに応じて必要となる知識やノウハウを提供するとともに、事業計画等の相談対応や専門家による個別メンタリング等を実施することで、スタートアップの成長の加速化を図る。

(1) スタートアップ総合相談窓口

常設でオフライン・オンライン双方の相談窓口を設置し、スタートアップの様々な課題に対し気軽に相談できる体制を整備する。

(2) スタートアップ育成プログラム

本市から世界で活躍するスタートアップを生み出すため、起業前後の市内スタートアップ等に対し、育成を目的としたプログラムを実施・運営する。また、当該プログラムには、海外展開を視野に入れた内容を盛り込むとともに、特に海外展開の実現可能性等が高い 2 名を選抜し、海外派遣を実施する。

(3) スタートアップ・エコシステムクラブ開催

本市のスタートアップ・エコシステムの更なる活性化に資するイベントを実施する。

〈R6 年度イベント〉



○次世代スタートアップ育成事業

30,457 千円(△186 千円)

次世代人材(大学生、高校生等)が集まるコミュニティを形成し、浜松地域の次世代を担うスタートアップ経営者やアントレプレナーシップに満ちた人材等を育成する。

(1)学生のためのアントレプレナーシップ醸成コミュニティ「Doer Tribe Hamamatsu」の運営

①次世代人材のアントレプレナーシップ醸成に資する定例イベントを開催する。(月1回程度)

〈Doer ポスター〉



②プログラムの提供

・アントレプレナーシッププログラム

将来のキャリアの選択肢として「スタートアップ起業」を意識させ、スタートアップビジネスの基礎を学ぶプログラムを実施する。

・社会課題解決プログラム

本市の社会課題に対する理解を深め、社会課題を解決するためのビジネスアイデアを創出するプログラムを実施する。

・伴走支援プログラム

コミュニティメンバーから5名/組程度の次世代人材を公募・選定・採択し、現在持っているアイデアやビジョンをビジネスプランに確立させるための最大6ヵ月間に渡る伴走支援型プログラムを実施する。

③コミュニティメンバーの課題や、ビジネスプランのブラッシュアップ等に対する伴走支援

(2)「Startup Cross Hamamatsu」の管理運営

「Doer Tribe Hamamatsu」の拠点や一般向けにトライアルオフィスとして活用する。



○浜松地域スタートアップ連携促進事業

55,701 千円(新規)

社会課題・行政課題を抱える浜松市各課や浜松市内にて活動する地域企業等とスタートアップ等の連携(実証実験・製品開発・共同研究・受発注等)に繋がるマッチング環境の整備及び連携プロジェクトを支援することにより、社会課題の解決や市民サービスの向上、産業の振興を図る。

(1)マッチング環境の整備

浜松市各課・地域企業からスタートアップと連携したいテーマを募集し、専用 Web サイト上に掲載する。テーマを閲覧したスタートアップから連携申込を受け付け、連携プロジェクトの組成に向けたマッチングを行う。



〈ハマハブ! ロゴ〉

(2)連携プロジェクト支援

組成された連携プロジェクトに対し、伴走支援のほか、予算の範囲において、補助金によるプロジェクト促進支援を実施する。

★補助金メニュー★

申請区分	補助額	申請者	申請期間	補助対象経費	伴走支援
I	対象経費の1/2 上限50万円	市内企業	令和7年8月1日から 令和8年2月28日まで	スタートアップのサービス、製品等の購入に要する経費等	無
II	対象経費の1/2 上限50万円	スタートアップ	令和7年8月1日から 令和7年12月28日まで	(1) 消耗品費 (2) 謝金 (3) 外注費、保守費、改造修理費 (4) 通信運搬費	無
III	対象経費の1/2 上限400万円	市内企業または スタートアップ	令和7年8月1日から 令和7年9月30日まで	(5) 広報活動費 (6) 交通費 (7) 賃借料	有

※令和7年度夏頃を目途にリニューアル予定

○スタートアップ・エコシステムグローバル化推進事業

20,000 千円(新規)

本市のスタートアップに対し、海外投資家とのネットワーク構築など海外への事業展開の機会を提供し、本市のスタートアップ・エコシステムのグローバル化を推進するため、令和7年度のグローバルイベント「Tech GALA」において以下の事業を実施する。



〈Tech GALA ロゴ〉

★TcehGALA2025(2025.2.4～6 開催)★

(1)グローバルな参加者による多彩なセッション

モビリティ、マテリアル、宇宙産業、ライフサイエンスなど、各分野において、世界の最前線で活躍する人々が一堂に会し、多彩なセッションを実施する。



〈Tech GALA 当日写真〉



(2)ハッカソン

未来を切り拓くアイデアをカタチにするプログラムを実施し、地域発のイノベーションを創出する。

(3)ピッチコンテスト

スタートアップピッチコンテストを開催し、全世界に発信する。

(4)交流会

世界から集まった参加者とのグローバルなネットワーキングを実施する。

○舞阪サテライトオフィス運営事業

4,904 千円(+81 千円)

首都圏等のスタートアップが入居できる「浜松市舞阪サテライトオフィス」を運営し、スタートアップの誘致につなげる。

浜松市舞阪サテライトオフィス管理・運営

営業時間 一般 : 平日 9 時～18 時(内覧、共有スペースの利用)

入居者:24 時間利用可(土日祝を含む)

部屋数 : 事務室 6 室、共有スペース 1 室、管理人室 1 室

入居企業数 : 6 社

審査方法 : 一次審査(書類)、二次審査(面談)を経て決定

〈共有スペース〉



○天竜トライアルオフィス運営事業

6,562 千円(△1,573 千円)

中山間地域におけるビジネスパーソンのコミュニティ拠点運営を通じ、創業希望者や移住希望者などに対し、キーパーソンとの繋がりや地域課題などの情報を共有できるコミュニティを提供することで新しいビジネスの創出につなげるとともに、中山間地域への人の流れをつくり出す。

天竜トライアルオフィス管理・運営

営業時間:火～土 10 時～17 時

設備等 : ホワイトボード、プロジェクター、文房具、コピー機、Wi-Fi、電源

登録者数:222 人



○首都圏ビジネス情報センター事業

12,539 千円(+1,573 千円)

首都圏において、本市のビジネス情報収集・発信に関する活動拠点を設置し、積極かつ機動的にスタートアップや工場・研究所の誘致、UJ ターン促進活動などを行うことで、本市の次代を担う企業・人材の確保を目指す。

(1)首都圏ビジネス情報センター事業

首都圏において、スタートアップ等の誘致活動を支援するアドバイザーと連携し、首都圏のスタートアップや支援者と各種イベント等で情報交換、本市施策への参加促進等の活動を実施する。

(2)CIC を活用した企業誘致事業

首都圏のインキュベーション施設「CIC Tokyo」の活用による、CIC 内のイベント等を通じたスタートアップとの情報交換、本市施策への参加促進等の活動を実施する。



〈首都圏ビジネス情報センター前〉



〈CIC 内イベント風景〉



〈CIC 浜松オフィス〉

○インドスタートアップ関連事業

21,367 千円(新規)

本市産業との親和性のあるインドのスタートアップ5社程度(計 15 名程度)を、本市へ招聘し、次の事業を実施する。

(1) インドスタートアップとの市内交流イベントの開催

インドのスタートアップ、市内企業・スタートアップによるピッチ、インド経済等に関する講演、交流会等を実施する。

(2) インドスタートアップの市内への産業視察の実施

市内企業・市内スタートアップへの訪問、産業施設見学等を実施する。

